



社会教育便り

2013年度 幡多地区小中学校PTA連合会 交流集会

8月25日(日)に四万十市立中央公民館で、交流集会が開かれました。この会は、PTA関係者が一堂に会し、情報・意見交換を通じて交流を図ると共に、青少年の健全育成に対するPTAの果たす役割について研究協議することを目的としています。この日も6市町村から約90名が参加し、熱心な協議となりました。講演では、「スクールカウンセラーから見た最近の子どもたち」と題し、松井浩之先生に子どもとの接し方等について大変わかりやすくお話ししていただきました。また、幡多福祉保健所から「幡多地域の歯科保健の現状と課題」、西部教育事務所から「学力の現状と児童生徒の実態」について説明をしました。グループ協議では、先日ご協力いただいたチェックシートの集計から、保護者の意識と子どもの意識の違いが大きかった「家庭学習・あいさつ・お手伝い」に焦点を絞り、PTAとしてできる取組をグループで考えていきました。



松井先生から、最近の子どもたちについて感じることをわかりやすく伝えていただきました。

講演の中で隣に座っている方とアイスブレイク。場がなごみました。

西部教育事務所から「知・徳・体」にかかわる幡多の子どもたちの現状を説明しました。



※各校の取組を情報交換し、大事にしていきたいことを熱心に協議しています。

☆「知・徳・体」にかかわる幡多の子どもたちの現状につきましては、西部教育事務所HPをぜひご覧ください。